

まちづくり連絡協議会では、今回農業部会を設けて、ニンニク栽培の研究会を作りたいと思います。

ニンニクを選んだのは、真鍋島の小規模な高齢者農業でもなんとかやって行けそうなこと、将来的には加工も含めて商品価値の高いものが期待できそうだからです。

ニンニクには、青森県を主にした寒地系のニンニクと、長崎県平戸にある平戸ニンニクや沖縄ニンニクのような暖地向きのニンニクがあります。

私たちがこの研究会で作ろうとしているのは、山口県萩市の離島(日本海)で生産されてきた大島赤丸ニンニクで、暖地向きのニンニクです。

あまり大きくはならないのですが、いかにも「これがニンニクだ」というような強い存在感のあるニンニクで、何種類か作ってみたニンニクの中では、これが一番食べて満足感の得られるものでした。

大手のタネ屋で買うと、種球(りん片)が高価で手が出しづらいのですが、今回研究会で試験的に栽培する位の種は準備しております。もちろん無料でおわけします。

株間が一五センチ位ですから、広い場所を要する作物ではありません。これから、いい品質のものを、みんなで知恵を出し合いながら作りたいと思います。

左記の要領で第一回目の寄り合いをして、そこで種球をお渡しします。興味のある方は是非ご参加ください。

日時 : 八月三〇日(金) 午後一時〜

場所 : ふれあいセンター一階談話室